

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの 出題教科・科目の問題作成方針に関する検討の方向性について

大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）では、全教科共通の問題作成方針及び各教科・科目の問題作成方針を公表し、問題作成を行っている。

平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領（以下「新学習指導要領」という。）に対応した令和7年度共通テストの各教科・科目の問題作成方針については、以下に示す方向性を踏まえて、問題作成部会に設置されている教科・科目等別問題作成方針分科会において審議の上、令和5年6月（予定）に決定、公表する。

【目次】

「国語」の問題作成方針に関する検討の方向性	2
「地理歴史」の問題作成方針に関する検討の方向性	3
「公民」の問題作成方針に関する検討の方向性	5
「数学」の問題作成方針に関する検討の方向性	7
「理科」の問題作成方針に関する検討の方向性	8
「外国語」の問題作成方針に関する検討の方向性	9
「情報」の問題作成方針に関する検討の方向性	12

（別添）

- 1 試作問題「国語」の概要，試作問題，正解表
- 2 試作問題「地理歴史」の概要，試作問題，正解表
- 3 試作問題「公民」の概要，試作問題，正解表
- 4 試作問題「数学」の概要，試作問題，正解表
- 5 試作問題「英語」の概要，試作問題，正解表
- 6 試作問題「情報」の概要，試作問題，正解表

「数学」の問題作成方針に関する検討の方向性

- 『数学Ⅰ，数学A』及び『数学Ⅰ』については，選択問題を含まず，全てを解答することとする。
- 『数学Ⅱ，数学B，数学C』については，「数学Ⅱ」は選択問題を含まず，全てを解答することとし，「数学B」及び「数学C」については，4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答することとする。従来の『数学Ⅱ・数学B』から出題範囲が増えることに伴い，各大問の分量については，内容と試験時間（70分）を踏まえて調整する。
- これまでの問題作成方針で示されている，「数学的な問題解決の過程」を引き続き重視しつつ，新学習指導要領に示されている，数学の各科目で育成することとされている資質・能力を一層重視したものとなるよう検討する。

→別添4に試作問題と概要を掲載

[参考] 令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針
(別添) 出題教科・科目の問題作成の方針(抄)

(数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B)

- 数学的な問題解決の過程を重視する。事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと，構想・見通しを立てること，目的に応じて数・式，図，表，グラフなどを活用し，一定の手順に従って数学的に処理すること，及び解決過程を振り返り，得られた結果を意味付けたり，活用したりすることなどを求める。また，問題の作成に当たっては，日常の事象や，数学のよさを実感できる題材，教科書等では扱われていない数学の定理等を既知の知識等を活用しながら導くことのできるような題材等を含めて検討する。